



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場会社名 アートsparkホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3663 URL <http://www.artspark.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 川上 陽介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊藤 賢 (TEL) 03-6820-9590
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績 (平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	2,157	50.1	23	—	4	—	3	—
26年12月期第2四半期	1,437	△22.7	△218	—	△229	—	△226	—

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 3百万円(—%) 26年12月期第2四半期 △227百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	0.45	0.45
26年12月期第2四半期	△34.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	3,707	2,377	62.9
26年12月期	3,969	2,362	58.4

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 2,330百万円 26年12月期 2,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,349	13.7	181	81.5	148	58.1	125	108.5	18.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期2Q	6,662,075株	26年12月期	6,647,375株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	2,370株	26年12月期	1,885株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期2Q	6,649,650株	26年12月期2Q	6,644,841株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年1月1日～平成27年6月30日)における我が国経済は、政府による経済対策や日銀の金融政策による金融緩和を背景に、企業収益の改善や個人消費の持ち直しの兆しがみられ緩やかな回復基調が続く一方で、欧州債務問題や中国の成長鈍化等の海外景気下振れリスク、円安を要因とした物価上昇等、景気の先行きについては不透明な状況で推移いたしました。

当社グループは、デジタルによるコンテンツの創作からの利用・活用に至るまでの諸活動を、トータルに支援できる環境の提供を経営理念に掲げ、事業を推進しております。

当連結会計年度におきましては、前期より黒字化したクリエイターサポート事業、前期期中に株式会社エイチアイ関西を孫会社化したUI/UX事業を中心に注力し、販売・営業活動の推進や提供サービスの拡充を図っております。また、当社子会社の株式会社エイチアイ(以下、「株式会社エイチアイ」)の事務所移転統合の決定や、連結孫会社株式会社U'eyes Designの株式の譲渡等により、財務等における経営資源の集中と配分を重視し、経営効率向上に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は2,157,480千円(前年同期は1,437,632千円、50.1%増)、営業損益は23,356千円の営業利益(前年同期は218,158千円の営業損失)となりました。

経常損益につきましては、支払利息7,467千円、持分法による投資損失7,195千円、為替差損1,986千円を計上したこと等により4,081千円の経常利益(前年同期は229,939千円の経常損失)となりました。純損益につきましては、株式会社エイチアイが保有していた株式会社U'eyes Designの株式譲渡による株式売却益が36,109千円発生しましたが、株式会社エイチアイの事務所移転に伴う費用12,426千円を計上、税金費用12,405千円等により3,045千円の四半期純利益(前年同期は226,855千円の四半期純損失)となりました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

<コンテンツソリューション事業>

コンテンツソリューション事業の中心である携帯電話市場におきましては、平成27年3月末で国内携帯電話加入契約数が1億4,783万台(前年比5.9%増)となっております。(社団法人電気通信事業者協会発表「携帯電話・PHS契約数」より)また、平成27年3月末のスマートフォン契約比率は携帯電話端末契約数の54.1%と前年度に比べ7.1%の増加となっております。(株式会社MM総研発表より)

このような経営環境の中、平成27年4月に総合電子書籍ビューア「BS Reader」を利用して、株式会社集英社のコミックが「コマビュー形式」(端末の画面サイズに合わせて画像を1コマずつ表示しスクロールやコマの切り替え時に様々な演出を加えることができる表示方法)で配信が開始されました。

なお、電子書籍ビューア「BS Reader for Browser」が利用されている電子書籍配信サービス数は、平成27年6月末では920サービス超となっております。

以上の結果、総合電子書籍ビューア「BS Reader」を軸として推進するコンテンツソリューション事業の売上高は564,134千円(前年同期比3.8%減)、営業利益は26,365千円(前年同期比17.9%減)となりました。

<クリエイターサポート事業>

当第2四半期連結累計期間では、製品ラインナップを整備するため、14年間に渡りご愛顧いただきましたマンガ制作ソフトウェア「ComicStudio」、また、イラスト制作ソフトウェア「ILLUST STUDIO」等の販売を終了いたしました。今後は、両ソフトウェアの機能を引き継いだ「CLIP STUDIO PAINT」の更なる研究開発と同時にインターネットを中心としたサービスの充実を図り、当社グループのソフトウェア群を利用して創作活動を行うクリエイター数を国内外で最大化させることに努めてまいります。この他、VAIO株式会社から発売されたモンスタータブレットPC「VAIO Z Canvas」に「CLIP STUDIO PAINT PRO/EX体験版」がプリインストールされました。

なお、クリエイターの創作活動をトータルに支援するサイト「CLIP」においては、平成27年6月末時点の登録者数は53万人となっております。

以上の結果、売上高は473,808千円(前年同期比34.3%増)、営業利益は72,467千円(前年同期比398.7%増)となりました。

<UI/UX事業>

当第2四半期連結累計期間では、「デザインエンジニアリング」をテーマに、自動車(四輪・二輪)関連分野を筆頭に、株式会社エイチアイが開発した、次世代UIオーサリングツール「exbeans UI Conductor(エックスビーンズユーアイコンダクター)」の販売活動に注力すると共に、事務所移転等の構造改革や受託開発及び製品保守サポート案件における製造原価の削減を推進しております。

また、株式会社エイチアイ関西は前連結会計年度の第2四半期から、株式会社U'eyes Designは同第3四半期からそれぞれ孫会社としております。このため、株式会社エイチアイ関西の前第1四半期累計期間分及び株式会社U'eyes Designの前第2四半期累計期間分の売上高は、前第2四半期連結累計期間における当事業セグメントの売上高の合計に含まれておりません。

なお、平成27年6月15日付で、株式会社エイチアイが所有する株式会社U'eyes Designの全株式を譲渡したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。ただし、みなし売却日（平成27年6月30日）までの損益計算書については連結しております。

以上の結果、売上高は1,109,417千円（前年同期比144.5%増）、営業損益は94,887千円の営業損失（前年同期は293,880千円の営業損失）となりました。

<アプリケーション事業>

アプリケーション事業につきましては事業縮小を進めており、売上高は16,086千円（前年同期比80.6%減）、営業損失は735千円（前年同期は28,621千円の営業利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて262,775千円減少し3,707,199千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が13,812千円、ソフトウェア仮勘定が158,637千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が99,542千円、ソフトウェアが110,999千円、のれんが116,696千円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて277,617千円減少し1,329,554千円となりました。この主な要因は、短期借入金が72,102千円増加した一方で買掛金が48,297千円、1年以内返済予定の長期借入金が32,607千円、長期借入金が206,332千円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて14,842千円増加し2,377,644千円となりました。この主な要因は、ストックオプションの行使により資本金が4,814千円、資本剰余金が4,814千円、また四半期純利益の計上により利益剰余金が3,045千円増加したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、62.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、287,613千円（前年同四半期は244,832千円の獲得）となりました。これは主として、子会社株式売却益36,109千円の計上や仕入債務の減少額38,679千円等があったものの、減価償却費の計上276,836千円、賞与引当金の増加額48,154千円、たな卸資産の減少額55,818千円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、287,077千円（前年同四半期は256,777千円の使用）となりました。これは主として、子会社株式の売却による収入22,688千円、敷金の回収による収入6,933千円があったものの、ソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出309,041千円、有形固定資産の取得による支出6,748千円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、11,464千円（前年同四半期は104,188千円の使用）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出89,551千円、短期借入金の返済による支出363,002千円があったものの、新株発行による収入9,628千円、短期借入による収入455,000千円等があったことによるものであります。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高は、1,025,711千円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の連結業績予想につきましては、平成27年2月6日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,086,746	1,100,559
受取手形及び売掛金	880,145	780,603
製品	13,135	4,944
仕掛品	63,502	31,545
原材料及び貯蔵品	60,899	37,323
その他	126,707	155,841
貸倒引当金	△16,381	△13,738
流動資産合計	2,214,755	2,097,080
固定資産		
有形固定資産		
建物	125,714	100,865
減価償却累計額	△85,389	△84,758
建物(純額)	40,325	16,107
工具、器具及び備品	241,945	216,712
減価償却累計額	△210,718	△197,602
工具、器具及び備品(純額)	31,227	19,109
有形固定資産合計	71,552	35,217
無形固定資産		
ソフトウェア	917,595	806,596
ソフトウェア仮勘定	241,832	400,470
のれん	134,174	17,477
その他	32,774	31,833
無形固定資産合計	1,326,376	1,256,378
投資その他の資産		
投資有価証券	111,991	94,474
敷金及び保証金	201,394	180,576
その他	38,424	39,210
投資その他の資産合計	351,810	314,262
固定資産合計	1,749,740	1,605,857
繰延資産	5,478	4,261
資産合計	3,969,974	3,707,199

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	211,822	163,525
短期借入金	406,214	478,316
1年内返済予定の長期借入金	151,798	119,191
未払法人税等	23,978	16,453
返品調整引当金	3,149	888
賞与引当金	83,656	131,810
その他	360,599	253,291
流動負債合計	1,241,218	1,163,476
固定負債		
長期借入金	276,203	69,871
退職給付に係る負債	80,443	86,933
繰延税金負債	1,275	1,242
その他	8,031	8,031
固定負債合計	365,953	166,078
負債合計	1,607,172	1,329,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,003,158	1,007,972
資本剰余金	482,285	487,099
利益剰余金	832,467	835,512
自己株式	△958	△1,429
株主資本合計	2,316,952	2,329,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,296	1,558
その他の包括利益累計額合計	1,296	1,558
新株予約権	34,142	36,111
少数株主持分	10,410	10,818
純資産合計	2,362,802	2,377,644
負債純資産合計	3,969,974	3,707,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,437,632	2,157,480
売上原価	1,105,852	1,482,564
売上総利益	331,779	674,915
返品調整引当金戻入額	8,292	3,149
返品調整引当金繰入額	11,070	888
差引売上総利益	329,001	677,176
販売費及び一般管理費	547,159	653,820
営業利益又は営業損失(△)	△218,158	23,356
営業外収益		
受取利息	442	188
受取配当金	2	347
その他	1,953	465
営業外収益合計	2,397	1,001
営業外費用		
支払利息	4,237	7,467
為替差損	3,374	1,986
持分法による投資損失	2,773	7,195
その他	3,792	3,628
営業外費用合計	14,178	20,276
経常利益又は経常損失(△)	△229,939	4,081
特別利益		
負ののれん発生益	13,849	-
新株予約権戻入益	421	145
子会社株式売却益	-	36,109
その他	46	-
特別利益合計	14,317	36,254
特別損失		
投資有価証券売却損	-	10,546
投資有価証券評価損	1,027	-
事務所移転費用	-	12,426
その他	-	1,364
特別損失合計	1,027	24,337
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△216,649	15,998
法人税等	10,361	12,405
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△227,011	3,593
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△155	547
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△226,855	3,045

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△227,011	3,593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△925	262
その他の包括利益合計	△925	262
四半期包括利益	△227,936	3,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△227,781	3,307
少数株主に係る四半期包括利益	△155	547

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△216,649	15,998
減価償却費	271,862	276,836
株式報酬費用	4,171	2,114
新株予約権戻入益	△421	△145
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,209	△2,331
賞与引当金の増減額(△は減少)	-	48,154
返品調整引当金の増減額(△は減少)	2,778	△2,261
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,206	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	6,490
受取利息及び受取配当金	△444	△536
支払利息	4,237	7,467
為替差損益(△は益)	412	-
持分法による投資損益(△は益)	2,773	7,195
負ののれん発生益	△13,849	-
投資有価証券評価損益(△は益)	1,027	-
投資有価証券売却損益(△は益)	-	10,546
子会社株式売却損益(△は益)	-	△36,109
売上債権の増減額(△は増加)	274,488	46,760
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,055	55,818
仕入債務の増減額(△は減少)	△63,232	△38,679
その他	3,613	△83,713
小計	255,710	313,604
利息及び配当金の受取額	1,798	548
利息の支払額	△4,714	△8,067
法人税等の還付額	-	1,894
法人税等の支払額	△7,962	△20,366
営業活動によるキャッシュ・フロー	244,832	287,613
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,836	△1,811
定期預金の払戻による収入	100,062	-
有形固定資産の取得による支出	△11,395	△6,748
有形固定資産の売却による収入	237	-
無形固定資産の取得による支出	△397,832	△309,041
無形固定資産の売却による収入	280	-
貸付金の回収による収入	21,109	900
投資有価証券の売却による収入	-	3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	33,846	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	22,688
差入保証金の差入による支出	△1,250	-
敷金の回収による収入	-	6,933
投資活動によるキャッシュ・フロー	△256,777	△287,077

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	455,000
短期借入金の返済による支出	△200,000	△363,002
長期借入金の返済による支出	△109,704	△89,551
株式の発行による収入	5,675	9,628
自己株式の取得による支出	△160	△471
少数株主への配当金の支払額	-	△140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,188	11,464
現金及び現金同等物に係る換算差額	△412	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△116,545	12,001
現金及び現金同等物の期首残高	1,088,291	1,013,710
現金及び現金同等物の四半期末残高	971,745	1,025,711

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ ソリューション事業	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	アプリケー ション事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	551,546	352,502	453,765	82,779	1,440,593	△2,961	1,437,632
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,000	224	—	—	35,224	△35,224	—
計	586,546	352,726	453,765	82,779	1,475,817	△38,185	1,437,632
セグメント利益又はセグメン ト損失 (△)	32,111	14,531	△293,880	28,621	△218,616	457	△218,158

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、株式会社エイチアイが、株式会社エイチアイ関西の株式を取得し子会社化したことに伴い、UI/UX事業において負ののれん発生益13,849千円を特別利益に計上しております。

また、平成26年4月15日付で株式会社エイチアイは、株式会社U'eyes Designの株式を取得し、子会社化したことにより、UI/UX事業においてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において125,778千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ ソリューション事業	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	アプリケー ション事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	558,168	473,808	1,109,417	16,086	2,157,480	—	2,157,480
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,965	—	—	—	5,965	△5,965	—
計	564,134	473,808	1,109,417	16,086	2,163,445	△5,965	2,157,480
セグメント利益又はセグメン ト損失 (△)	26,365	72,467	△94,887	△735	3,210	20,146	23,356

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

平成27年6月15日付で株式会社エイチアイが、株式会社U'eyes Designの株式を売却したことにより、のれんが100,622千円減少しております。